

コード	104010103
記入日	H24.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	湯川 直基

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域情報通信基盤整備推進事業（無線LAN整備事業）
----------	---------------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 22 年度 ～ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	104	施策名称	しまを活性化させる情報基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10401	基本事業名称	情報通信網等の整備	目コード	9
事務事業コード	1040101	事務事業名称	情報通信基盤構築事業費	細目コード	810
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	ブロードバンドサービスを希望する地区	(対象指標1)	1地区			
(対象2)	超高速回線接続	(対象指標2)	1.0式			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	(平成23年度) ・無線LAN施設整備地区・1地区	***** 無線LAN施設整備	***** 1地区	***** 100%	実施整備地区→ 計画整備地区	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	希望した地区に計画どおり実施できた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・平成20、21年度に整備した、無線LAN施設整備地区内で無線LAN電波が届かない世帯の解消と安定的にサービスを提供することを目的とする。		***** 不感地区解消進捗率	***** 1地区	***** 100%	実績整備地区→ 計画整備地区	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	無線LAN施設を整備した1地区で無線LAN電波不感世帯が解消できた。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 地区	7	7	6	1	1				
	②									
成果指標	① %	100	100	100	100	100				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	13,419	13,419	11,585	1,834	1,834				
直接事業費 A	千円	9,219	9,219	8,085	1,134	1,134				
人件費 B	千円	4,200	4,200	3,500	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.6	0.6	0.5	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	13,419	13,419	11,585	1,834	1,834				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理 由	今日の情報化社会で、情報通信基盤格差是正のために高速インターネットは必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理 由	無線LANサービス地区内での情報格差是正のためには必要である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	インターネット環境整備だけに限らずネットワーク利用してICT（情報通信技術）による地域課題解決のために活用できる。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理 由	整備後の加入者が少なく費用面での問題がある。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	必要最小限で整備を行うための適正な設計に努め、できる限りの削減を行った。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	未対応地区が3地区残っていたが、2地区はアンテナ設置方向変更などで解消できた。
	今後、課題に向けた改善策	無線LANサービスの安定的な適用ができるよう、計画的な保守管理、改修を行う必要がある。

2 次 評 価	無線LANサービス地区内での情報格差是正ためには必要な事業ではあるが、整備後の加入者やサービスの安定的な運用が図られるよう指定管理者と協議し対応すること。
----------------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。